

# 風と牙

作・演出 岡部 耕大

**吾妻姫** 「それでは戦さではできません。人を信  
頼し、任せ頼らなければ、人は命懸け  
では動きませぬ」

**頼朝** 「人は追い詰めて恐怖させ、背けぬと  
思わせて使うものだ」

義経の類い希なき人間性はだれにも慕われ、頼朝を嫉妬させ疑心暗鬼へと追い込むには充分であった。義経と肝胆あい照らす同志となりつつある吾妻姫への頼朝の嫉妬は募り、やがて憎しみへと変わっていく。静御前も、野生味溢れる西国の吾妻姫に義経の心が揺り動かされることに嫉妬する。そして、壇ノ浦の合戦……。

義経と覇を競う吾妻姫。それは深謀遠慮に長けた頼朝の策略に嵌まり、力尽きるまで先陣争いに挑む二人の姿でもあった。

壇ノ浦での源氏の勝利は頼朝を増長させた。義経を邪険に扱い、約束を反古にする頼朝に、吾妻姫は反発した。

**吾妻姫** 「人間がなによりも守らなければいけない約束は、口約束です」

**頼朝** 「……。ほう」  
「あなたはいずれ味方からの裏切り  
に会うことになるでしょう」

ついに、吾妻姫は軍団と共に西国へと退いた。頼朝を諷めた義経も、その逆鱗に触れることとなり北へ逃れる。吾妻姫憎しと激怒しながらも、吾妻姫に恋い焦がれている頼朝は、追っ手を西国へ放った。「吾妻姫を討て」。ついに、関東武士団と松浦党の壮絶な海戦は始まった……。

「劇は、終局人間を描くことにある」という岡部耕大が、歴史劇に生々しい人間ドラマを取り入れ、史実と物語とを織り混ぜながら、いつの時代も変わらない男と女のうねるような愛と憎しみのドラマを完成させました。

**頼朝** 「人は背くものだ。予め、人は背くものは動いてくれませぬ」  
「人は背くものだ。予め、人は背くものと考えてすべての計画をしなければ、



勝呂 誉



久我美智子



菊池貴子



小淵友加里



黒田隆哉



溝口舜亮



岡本 舞



鴨川てんし



矢野晴彦



増山浩一



小沢俊明



佐藤克之



斉藤省司



加藤繁木



服部博行

1995年11月28日(火)→12月3日(日)

	11/28火	29水	30木	12/1金	2土	3日
2:00			●		●	●
6:30	●	●		●	●	

- 前売開始 10月12日(木)
- 御入場料 A席7,000円 B席4,000円  
キャンパスシートA席半額(学生当日割引・各回限定20名)
- 電話予約 チケットホン松竹 03-5565-6000
- お問い合わせ・サンシャイン劇場 ☎03-3987-5281

チケットのお求めは、サンシャイン劇場、歌舞伎座、新橋演舞場の各前売窓口  
チケットぴあ03-5237-9999/チケットセゾン03-5990-9999/丸井チケットぴあ03-5385-9999/CNプレイガイド03-5802-9999/都内各プレイガイド

## サンシャイン劇場

池袋サンシャインシティ文化会館4階/JR池袋駅下車東口徒歩15分/地下鉄有楽町線池袋駅下車徒歩5分